

この度、甲府共立病院患者サポートセンター地域連携室の師長に着任しました原田有佳と申します。私は、これまで急性期病棟・地域包括ケア病棟で勤務してきました。また、山梨県看護協会の訪問看護等在宅ケア推進委員会では、山梨版退院支援マネジメントガイドライン（2015年）の作成や研修開催に携わってきました。これらの経験を活かし、急速に高齢化が進む中で疾病や障害を抱える患者、家族が住み慣れた地域、望む療養場所で安心して生活を送ることができるよう地域の病院・開業医・施設の皆様と当院を繋ぐ役割を果たしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



患者サポートセンター
地域連携室師長
原田 有佳

患者サポートセンターより

甲府共立診療所のご案内

診療科：内科・甲状腺外科・乳腺外科・泌尿器科
整形外科・心臓血管外科・耳鼻科・小児科
皮膚科・眼科

甲府共立診療所（代表）055-221-1000
（平日・受付時間内・小児科発熱者対応問い合わせ先）
電話での対応時間 9:00～17:00

甲府共立病院のご案内

診療科：外科・肛門外科・産婦人科・精神科
緊急患者対応

※精神科は、完全予約制です。現在、新患の受け入れは中止しております。

甲府共立病院（代表）055-226-3131
（緊急受診患者・発熱者対応問い合わせ先）
24時間電話相談可

- 診療科は、日によって変動がありますので詳細はお問い合わせください ●
- 医療機関からの紹介・相談対応は、患者サポートセンターにて承ります ●
直通 055-226-3133 FAX 055-221-0006
[対応時間 月～金 9:00～17:00 土曜日 9:00～13:00]
- 入院中の患者に関する退院支援等の問い合わせ ●
直通 055-226-3135 [対応時間 月～金 9:00～17:00 土曜日 9:00～13:00]



【休診】 木曜日の午後・土曜日の午後・第4土曜日・日曜・祭日・5月1日・年末年始（12月29日～1月3日）

●●● 入院までの流れ ●●●

- 受付** 地域連携室に保険証・紹介状をご提示ください
- 診察** 紹介外来担当医師の診察を受けます
- 相談** 患者様と入院の具体的な内容を確認します
- 説明・処置** 看護師が入院の説明、必要な処置を行います
- 入院** 病棟のベッドが用意できるまでお待ち頂く事があります

病状によっては、甲府共立診療所で診察を行うこともあります。スムーズな入院受け入れのため、右記のような情報をお尋ねしますのでご了承ください。

- ① 患者様の氏名
- ② 生年月日
- ③ 病名・病態
- ④ ADL 状況
- ⑤ 認知症の有無

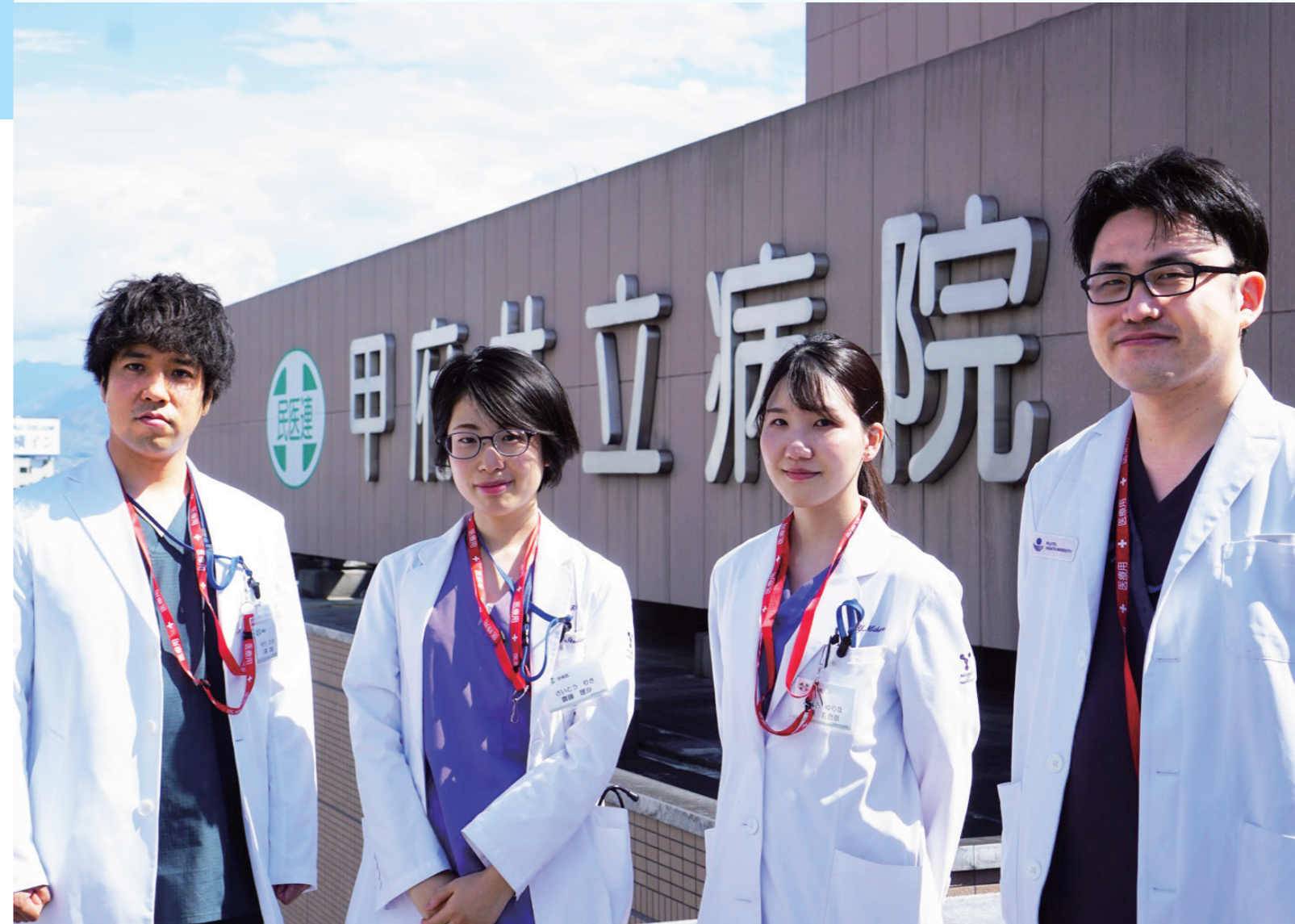
患者サポートセンターよりお知らせ
新体制になりました！
私たちがサポートします！



gional Medical Liaison Office
News and magazine

地域連携だより

地域の皆様が安心して治療が受けられるように



目次

- P2 患者サポートセンター長のご挨拶
- P2,3 研修医紹介
- P4 患者サポートセンター・地域連携室師長のご挨拶
- p4 患者サポートセンターよりお知らせ

2021
6
June



患者サポートセンター長のご挨拶

地域の医療機関・介護事業所の皆さま、いつも当院の医療活動へのご理解・ご協力誠にありがとうございます。
当院では、この春4名の初期研修医と3名の後期研修医を新たに迎え入れました。コロナ禍で歓迎行事もなく、医局での昼食時も黙食ですので、賑やかとはいきませんが、若い力を得て歩みだしました。連携上、不慣れな面がありご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、指導医の指導のもとで対応させて頂いております。どうぞよろしくお願い致します。

本稿をしたためているのは新型コロナウイルスの変異株が全国的に猛威をふるう第4波の真っ只中です。お手元に届く頃には、新たな感染確認が減少し、大阪などの深刻な医療崩壊が改善し、山梨での医療体制が逼迫していないことを願うばかりです。

昨年は当院職員・入院患者で新型コロナウイルスの散発的な陽性確認があり、一時的に一部診療体制の縮小等を行いました。地域の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしました。引き続き、高い緊張感を持って感染対策を行いつつ、疑似症受け入れを含む二次救急医療機関としての機能をしっかり守っていきます。

長期化するコロナ禍で医療・介護従事者のストレスの蓄積も相当なものになっています。皆さまにおかれましてはご自身や職員のストレスケアについてもご留意いただき、何か当院でお役に立てることがあればご相談いただきたいと思います。

また、地域の人々の状況も昨年以上に厳しさを増しています。健康上の不安や体調に異変を感じても医療機関を受診することをためらう方が増えることが心配されます。皆さまとも一層連携を強め、無料低額診療などを行っている当院の特徴をいかし、地域のお役に立てるようがんばってまいります。

まだまだ困難な状況が続きますが、皆さまとしっかり連携して、当院に求められる役割を果たしてまいります。今年度もどうぞよろしくお願い致します。



患者サポートセンター センター長
平田 理

初期研修医紹介



さいとう りさ
齋藤 理沙

・医師を志した理由

どんな職業でも『人の役に立つ』という面は少なからずありますが、とりわけ医師が目の前の患者さんの人生に対して与える影響はとて大きく、そのような職業に憧れを抱いたからです。地域の健康を支える存在になりたいと考えております。

・今後頑張ること

患者さんに寄り添いながら、自信をもって診療行為を行う医師になれるよう、まずは一人一人の患者さんと真剣に向き合って日々学び、成長していきたいと思っております。



みはら ゆりな
三原 百合奈

・医師を志した理由

幼少期から人のためになる仕事につきたいと思っていました。人が生活する上での全ての基盤となっているのが健康であり、人の健康を支える仕事がしたいと思ったので医師を目指しました。

・将来の理想像

山梨県がいつまでも安心して暮らせるまちであるように、病気の治療を行うだけでなく予防医学や連携できる社会保障のシステムなどについても理解を深め、困っている人の力になれる医師、そして困っていない人も支えていける医師になりたいです。



やひろ たいき
八廣 太樹

・医師を志した理由

祖父、父、姉が医師という医療の家系であったため、医療がとても身近でした。そのため自然と医師の道を志すようになりました。

・将来の理想像

医師の格言の一つに「名医より良医たれ」というものがあります。この言葉に自身の解釈を加えて「名医より優しく優れた“優医”たれ」を目標に研修を行っております。将来はこの“優医”になれればと考えております。まだまだ未熟ですが、地域の皆さまと共に医師としても人間としても成長していけるように研鑽に努めます。何卒よろしくお願い致します。



はた たかゆき
畑 孝幸

・医師を志した理由

私は明治大学を卒業後大手電機メーカーの代理店で営業をしておりました。2008年当時就職氷河期が続く中、将来の不安もあり転職を決めました。既に26歳を過ぎており選択肢が限られていた中で、以前目指していた医師にもう一度トライしようと考え無事医師になることができました。

・今後頑張ること

まずは内科の知識を後期研修含めてしっかりと学びたいです。また、医師国家試験の勉強中に海外の大学の方々と知り合いになり東南アジア、例えばフィリピンでは内視鏡や心カテなどが全国で数カ所に止まっているなど医療の遅れを知り、将来的にこういった国々に医療貢献をしていきたいと考えております。

後期研修医紹介

2021年4月入職医師



そがべ ひろふみ
曾我部 博文

甲府共立病院は疾患の治療だけでなく、共同組織の皆さんと共に行うまちづくり活動などに代表される病院外での環境整備にも力を入れている病院だと考えています。

私も患者さんの病気はもちろんですが、患者さん本人やご家族、地域の生活・社会背景まで考慮して診療にあたることのできる医師であることを自分自身の芯として持っていようと思っています。また、甲府共立病院に身を置くことで、背景まで診れる医師としてさらに成長していきたいと考えています。

精一杯診療活動を行わせていただきますので、よろしくおねがいします。



もとやま りゅうた
元山 隆太

私の甲府共立病院での学びの目標は、内科疾患だけでなく救急疾患に対する基本的な対応や治療を迅速に行えるようになることはもちろん、適切な検査や治療を過不足なく実践できるように幅広い知識・手技・技術などを習得していくことです。

ただ患者さんと医師だけで医療を成り立たせることは難しく、多職種との連携も取れて初めて最善の医療が提供できると考えております。なので私は患者さんだけでなく看護部や薬剤部、リハビリテーションなどの多職種のスタッフとも堅固な信頼関係を築くことが大切だと考え、日々心掛けています。

まだ不慣れな点も多々ありますが、今後も誠心誠意努めて参りたいと思っております。